

日本児童文学学会紀要「児童文学研究」 総目次

論題は原則そのまま記していますが、その他の箇所では、読みやすさを考慮して漢数字を算用数字に直すなど、一部改変して表記している場合がございます。ご了承ください。

万が一、お名前や論題などに誤りがありましたら、事務局までご一報頂けますようお願い申し上げます。

なお、バックナンバーの在庫がある号については、1冊1,000円で会員のみなさまに販売いたします。購入をご希望の場合は、必要な号数と、紀要および代金振込用紙の送付先を、事務局までメールかハガキでお知らせください。

【第1号（1971年秋季号）】

■自由論文

- ・児童文学における「伝え」の問題（本田 和子）
- ・南吉文学に見る孤独と背信と没倫理性
—幼時に取材した自伝的小説を中心として—（浜野 卓也）
- ・宮沢賢治童話の色彩 —児童文学性の一側面—（大藤 幹夫）
- ・「龍の目の涙」「ある島の狐」の初出について（向川 幹雄）
- ・「泣いた赤鬼」新旧版の比較（山本 道子）
- ・異名同人考（藤田 圭雄）
- ・ロフティングについて —「ドリトル先生物語」の作者—（白木 茂）
- ・アンデルセンの母が息子にあてた手紙（山室 静）
- ・イラン・インド両国にみるアジアの児童書出版の現状（金平 聖之助）

■書評

- ・「国文学」の特集に触れて（上野 明雄）
- ・『童話の作り方』（福田清人 著）（村松 定孝）
- ・『日本の童話作家』（日本児童文学々会 編）（根本 正義）

【第2号】 ※在庫・販売なし

【第3号（1973年秋季）】

■自由論文

- ・日本の子どもたちの行末（石森 延男）

- ・「童話」という呼び名 (藤田 圭雄)
- ・日の目を見なかった「日本童話」 — 童話作家協会の機関雑誌 — (渋沢青花)
- ・雨情の童謡と「事物の生活」についての一考察 (渋谷 和子)
- ・絵本観の変遷 (永田 桂子)
- ・絵本画家、マリウス・センダック論 (金平 聖之助)
- ・童話作家・細川風谷の行方 (村松 定孝)
- ・ホフマン『もじゃもじゃペーター』の日本最初の紹介(2) (上 笙一郎)

■資料・研究文献紹介

- ・ロシア児童文学史(その二) (A・P・バーブシキナ 著 北村順治 訳)
- ・満州児童文学資料(その二) (石森 延男 編)
- ・あいつぐ児童文学誌の創刊 (上野 明雄)
- ・児童文学研究書の現況 (上野 明雄)

【第4号(1975年春季)】

■自由論文

- ・明治の児童雑誌「わらんべ」 (藤田 圭雄)
- ・絵本観の変遷 (二) 胎動期(明治元年～明治三十年あたりまで) (永田 桂子)
- ・「ろばの皮」についての一考察 (石澤 小枝子)
- ・ロシア児童文学史(三) (A・P・バーブシキナ 著 北村順治 訳)
- ・満州児童文学資料(その二) 雑誌、刊行物、新聞など掲載されたもの (石森 延男 編)

【第5号(1975年秋季)】

■自由論文

- ・「ろばの皮」との比較による小波お伽噺化の一考察 (石澤 小枝子)
- ・「家庭教育・歴史読本」について (勝尾 金彌)
- ・絵本観の変遷 (三) 混迷期(昭和三十年あたり～大正十年まで) (永田 桂子)
- ・小川未明・童画作家への出発 — 「少年文庫」から『赤い船』へ — (畠山 兆子)
- ・モーヌの大将について (牧野 文子)
- ・現代日本における〈花物語〉の系譜 — 女流児童文学の一側面 — (上 笙一郎)

【第6号(1976年)】

■自由論文

- ・お山の杉の子 — 吉田テフ子 — (楠木 繁雄)

- ・絵本観の変遷 (四) 誕生期 (大正十一年～昭和十二年まで) (永田 桂子)
- ・文学と児童像についての一考察 (定松 正)
- ・有島武郎の児童文学 (増子 正一)
- ・子供の歌と遊びとの関連性 (菅沼 康憲)

【第7号 (1976年秋季)】

■自由論文

- ・与志雄童話の再評価 (関口 安義)
- ・教科書に見る婦人像 (高橋 美代子)
- ・昭和児童文学の再検討 ―児童文学に翻訳論争はあったか― (根本 正義)
- ・有島武郎の児童文学 (その三) (増子 正一)
- ・子供の歌と遊びとの関連性 (二) (菅沼 康憲)

【No.8 (1978年夏季)】

■自由論文

- ・物語体験としてのイニシエーション ―「家出」の象徴をめぐって― (本田 和子)
- ・ラ・フォンテーヌの『寓話詩』におけるモラルについて (牧野 文子)
- ・ローラ・インガルス・ワイルダーの生涯と“小さな家シリーズ” (谷口 由美子)
- ・有島武郎の児童文学 (その四) (増子 正一)

■資料・研究文献紹介・その他

- ・昭和五十二年度研究書リスト
- ・第一回 児童文学学会賞

【第9号 (1978年秋季)】 ※販売なし

■自由論文

- ・試論 児童文学作品における知覚イメージ (竹内 オサム)
- ・新美南吉論 (北井 千鶴)
- ・絵本観の変遷 (五) 萌芽期 (昭和十三年～終戦まで) (永田 桂子) ※前半のみ

■書評

- ・『詩と童話について』(与田準一 著) (弥吉 菅一)
- ・『未明童話の研究』(続橋達雄 著) (大藤 幹夫)

■資料・研究文献紹介・その他

- ・アメリカ議会図書館児童図書館 (三宅 興子)
- ・南吉資料整理の昨日今日 (斎藤 寿始子)
- ・日本児童文学学会関西例会一覧

【第10号(1979年秋季)】

■自由論文

- ・『チチノキ』の童謡1 (藤田 圭雄)
- ・安房直子の空想物語についての一考察
—「きつねの窓」「鳥」を中心に— (萬屋 秀雄)
- ・異 聖歌の童謡について —自筆童謡集『茱萸』を中心に— (谷 悦子)
- ・オーストラリア児童文学のファンタジー
—P・ライトソンの「氷がくる」— (片岡 政昭)
- ・フランスにおける子どもの本の書評活動について (新倉 朗子)
- ・絵本観の変遷 (六) 萌芽期(昭和十三年～終戦まで) (永田 桂子) ※後半

■学会研究例会講演より

- ・巖谷小波とお伽唱歌 (桑原三郎)

■資料・研究文献紹介・その他

- ・日本文学研究文献目録 —1978年1～6月— (向川 幹雄・竹内オサム 編)
- ・英語圏文学研究文献目録 —1978年6～12月— (三宅 興子 編)
- ・第二回学会賞・奨励賞について

【第11号(1979年秋季)】

■自由論文

- ・南吉童話「のら犬」の一考察 (続橋 達雄)
- ・江口渙の革命思想と童話観 (上田 信道)
- ・佐藤さとの短編ファンタジーについて —その特質をさぐる— (萬屋 秀雄)
- ・イタリアの「灰かぶり」物語 (増山 暁子)
- ・「おばあさんの村」論 —童話を通してみる中野重治文学— (浜野 卓也)
- ・池内茱萸=伊丹万作なること (上 笙一郎)

【第12号】※在庫・販売なし

【第13号（1982年秋季）】

■自由論文

- ・石井研堂『鯨幾太郎』の受容について（上田 信道）
- ・〈再話〉の創造性 —長田秀雄「厨子王と安寿姫」の場合—（佐藤 宗子）
- ・「権狐」の人物像（一） —キツネとしてのごん—（北 吉郎）
- ・松谷みよ子の再話文体 —「おしになった娘」「茂吉のねこ」を中心に—（甲田 和子）
- ・巖谷小波の文体観 —文語体から言文一致体へ—（藤本 芳則）
- ・戦後—— 「岩波の子どもの本」創刊以前の絵本観（永田 桂子）
- ・戦争児童文学をめぐって（長谷川 潮）
- ・雑誌「童話精神」の運動（五十嵐 康夫）
- ・歴史児童文学の現状と今後の課題（久保 喬）

■資料・研究文献紹介

- ・英語圏児童文学研究文献目録（三宅 興子 編）

【第14号（1983年秋季）】

■自由論文

- ・『コドモノクニ』の童謡 1（藤田 圭雄）
- ・なぜ未明は象徴童話を書いたのか（浜野 卓也）
- ・「ごん狐」の人物像 —草稿「権狐」における〈擬獣化〉について—（北 吉郎）
- ・「キルーフとオルウェン」の物語 —ウェールズのアーサーと妖精たち—（中野 節子）
- ・思い出の記（石橋 達三）

【第15号（1984年夏季）】

■自由論文

- ・P・グリバリ「蛇口の妖精」 —魔法の世界が現実と出会うとき—（谷 恭子）
- ・シンデレラのガラスの靴論争（新倉 朗子）
- ・中学・代用教員時代の南吉における結核 —「ごん狐」の主人公の死—（北 吉郎）
- ・芥川龍之介と児童文学 —「白」をめぐる考察—（菅野 信賢）
- ・泉鏡花「お銀小銀」をめぐって（藤本 芳則）

- ・紅緑の大人ものと少年もの ―「富士に題す」をめぐる― (桑原 三郎)

■資料・研究文献紹介

- ・日本児童文学・研究文献紹介 (向川 幹雄 編)
- ・英語圏児童文学・研究文献紹介 (三宅 興子 編)

【第16号(1985年夏季)】

■自由論文

- ・オトフリート＝プロイスラー論 ―作家と作品の間― (森 典子)
- ・今西祐行の処女作「ハコちゃん」の成立過程 ―リアリズムへの変質― (三井 喜美子)
- ・『昆虫列車』のまど・みちお ―童謡における「娯楽性」の主張― (谷 悦子)
- ・新美南吉「花のき村と盗人たち」の成立と、オスカー・ワイルド「わがまゝな大男」(草野 明子)
- ・新美南吉の「家」 ―帰りつかぬ物語の不安― (佐藤 宗子)
- ・秋田雨雀の童話論 ―童心主義の流れの中で― (上田 信道)

■資料・研究文献紹介

- ・『現代児童文化講座』総目次 (根本 正義 編)
- ・日本児童文学・研究文献紹介(1984年1～3月) (向川 幹雄 編)
- ・英語圏児童文学・研究文献紹介 (三宅 興子 編)

【第17号(1986年春季)】

■自由論文

- ・千葉県三における文体、その選択と意味
―「虎ちゃんの日記」を中心にして― (高橋 久子)
- ・詩歌翼賛 ―「雨ニモマケズ」の遍歴― (桑原 三郎)
- ・『少女の友』、その栄光の時代 (遠藤 寛子)
- ・中勘助『銀の匙』小論 (西 英生)
- ・北田薄氷の児童文学 (藤本 芳則)

■資料・研究文献紹介

- ・金教善「朝鮮少年文芸団体消長史稿」(1932年) (滑川 道夫)
- ・日本児童文学・研究文献紹介(1984年4～12月) (向川 幹雄 編)
- ・英語圏児童文学・研究文献紹介 (三宅 興子 編)

【第 18 号 (1987 年春季)】

■自由論文

- ・マンガ本質論の追求 (古林 三樹也)
- ・明日の社会への良心の書
—『人間はどれだけの事をして来たか (一)』— (勝尾 金弥)
- ・宮沢賢治における「反復」の過程 —詩集『春と修羅』に見る— (松扉 博)
- ・有島童話と他の作品 (増子 正一)
- ・『こがね丸』『二人むく助』をめぐる批評 (向川 幹雄)

■資料・研究文献紹介

- ・アンデルセン童話百周年記念会資料 (滑川 道夫)
- ・日本児童文学・研究文献紹介 —1985 年— (向川 幹雄 編)
- ・英語圏児童文学・研究文献紹介 (三宅 興子 編)

【第 19 号 (1987 年秋季)】

- ・宮沢賢治の語彙をめぐって —賢治詩からの視座— (宮沢 健太郎)
- ・千葉県三の作品年譜考 —初期作品を中心に— (副島 逸子)
- ・千葉県三と茨城児童芸術運動 (高橋 久子)
- ・「コドモノクニ」小考 —読者論の立場から— (中村 悦子)
- ・『日本少年』から『少年倶楽部』にみる少年投書家展望
—“投書”に寄せる少年という時間— (佐藤 光一)

■資料・研究文献紹介

- ・シンポジウム記録 いま『赤い鳥』に何をまなぶか
- ・日本児童文学学会創立資料について (滑川 道夫)
- ・日本児童文学研究文献目録稿 (向川 幹雄 編)
- ・英語圏児童文学研究文献紹介 (三宅 興子 編)

【第 20 号 (1988 年秋季)】

特集：日本児童文学学会創立 25 年記念論文入選作

- ・〈日本児童文学学会創立 25 年記念〉
児童文学・文化研究論文懸賞募集の選考を終えて (冨田 博之)

■自由論文

- ・児童文学の「文体」における「近世」と「近代」
—明治二十年代前半の児童文学の重層性— (中村 哲也)
- ・魯迅の児童文学、児童読物への論評
—一九二、三〇年代の中国児童文学と関連させて— (石田 稔)

- ・拡大と縮小のパターン
—ルイザ・メイ・オルコットの『若草物語』と『仕事』にみられる19世紀のフェミニズム— (浦川 直子)
- ・『赤毛のアン』の作者L・M・モンゴメリの実像 (桂 宥子)
- ・童装束に現われる児童観の分析
—十二世紀末以前における貴族の童男・童女を中心として— (加藤 理)
- ・今井よねと福音紙芝居 (上地 ちづ子)

【第21号(1989年秋季)】

■自由論文

- ・野口雨情 —ルソーへの共鳴— (西條 和子)
- ・『不思議の国のアリス』における二人の女性像
—ヴィクトリア朝女性史の視点から— (林 豊美)
- ・ヴァージニア・リー・バー튼作品論序論 (美谷島 いく子)
- ・ELEANOR H. PORTER 作品における sympathy
—“Pollyanna Grows Up”を中心に— (高橋 久子)
- ・絵雑誌「コドモノクニ」解題と細目(その一) (中村 悦子・岩崎 真理子)

■資料・研究文献紹介

- ・日本児童文学研究・評論文献目録(1987年) (向川 幹雄 編)
- ・英語圏児童文学研究文献紹介(1987年度) (三宅 興子 編)

【第22号】 ※在庫・販売なし

【第23号(1991年)】 ※販売なし

■自由論文

- ・愛子叢書の読みについて (続橋 達雄)
- ・大正期の日曜学校向け児童読物 —野辺地天馬と「小光子」— (森田 絵里)
- ・〈児童読物改善ニ関スル内務省指示要綱〉にいたる経緯 (浅岡 靖央)
- ・「狼森と笹森、盗森」における心理学的イメージの考察 (林 美千代)
- ・In Fairy-Land から The Princess Nobody へ (三宅 興子)

■資料・研究文献紹介

- ・児童文学 (日本) 研究文献目録 (1988 年) (向川 幹雄 編)

【第 24 号 (1992 年)】 ※販売なし

■自由論文

- ・「七一雑報」の子ども向読物をめぐって (勝尾 金弥)
- ・尾崎紅葉と児童文学 —『二人むく助』を中心に— (藤本 芳則)
- ・「北守将軍と三人兄弟の医者」論 —もう一つの西域童話— (多田 幸正)
- ・『童謡集 銀の砂』について
—大正期の自由教育の中で生まれた兵庫県の児童詩集— (和田 典子)
- ・森三郎童話研究 —第二次「赤い鳥」との関わりを中心に— (酒井 晶代)
- ・〈童話〉語義考 —明治時代— (向川 幹雄)

■資料・研究文献紹介

- ・英語圏児童文学研究文献解題 (1989 年) (三宅 興子 編)

【第 25 号 (1993 年 3 月)】 ※販売なし

■自由論文

- ・小波のお伽噺化の一方法 —『日本昔話第二三編牛若丸』上— (早川 史香)
- ・魔法使いから魂の導者へ
—J・R・R トールキン『指輪物語』におけるガンダルフ— (高鷲 志子)
- ・不在の少女たちからのメッセージ
—Virginia Hamilton の The Planet of Junior Brown 再読— (藤森 かよこ)

■創立 30 周年記念入賞論文

- ・『女学雑誌』にあらわれる子供 —母子関係の展開を中心として— (内藤 知美)
- ・「日本児童文庫」の成立とその時代背景 (早川 麻里)
- ・ピノッキオの成長 —『エミール』からの考察— (村上 薫)

- ・子どものテレビ物語の理解におけるカット技法の役割 (山本 博樹)

■資料・研究文献紹介

- ・日本児童文学研究文献目録考 (1990年) (向川 幹雄 編)

【第26号 (1993年9月)】

■自由論文

- ・高橋太華の児童文学 ―史伝とお伽話を中心に― (上田 信道)
- ・西條八十とミス・ローレンス・アルマ・タデマ
―受容における自己中心性について― (畑中 圭一)
- ・「もうひとりの自分」考
―E・L・カニグズバーグ『ぼくと〈ジョージ〉論』― (奥山 恵)
- ・雑誌に掲載されたケストナー (泉 千穂子)
- ・A・L・バーボールド夫人の『子どものためのレッスン』
―英語読み方教育の1テキストをめぐって― (中野 節子)

■追悼・滑川道夫

- ・滑川道夫 ―晩年の輝き― (関口 安義)
- ・文化史としての作文教育史
―滑川道夫著『日本作文綴方教育史1―明治篇』の文化論的地平― (中村 哲也)

■資料・研究文献紹介

- ・英語圏児童文学研究文献解題 ―1990年― (三宅 興子 編)

【第27号 (1994年)】

■自由論文

- ・最初の翻訳探偵小説と児童文学
―神田孝平訳「探偵小説 青騎兵」を中心に― (上田 信道)
- ・巖谷小波と〈お伽唱歌〉 (藤本 芳則)
- ・「銀河鉄道之夜」と『ユートピアだより』 (多田 幸正)
- ・阪田寛夫にみるナンセンス ―「歌の根っこ」考― (谷 悦子)
- ・フェミニズムから見る『魔女の宅急便』
―「他者」としての魔女(原作)と人間化された魔女(アニメ)― (藤森 かよこ)
- ・『講談社の絵本』の変遷と戦時下の絵本としての側面 (阿部 紀子)

- ・“雛”の心性（森下 みさ子）
- ・KENNY'S WINDOW における「まど」（足羽 美恵）

■研究報告

- ・〈児童読物改善ニ関スル内務省指示要綱の成立〉
—「幼少年少女雑誌改善に関する答申案」との照合—（浅岡 靖央）

■資料・研究文献紹介

- ・児童文学研究（日本）文献目録 —1991年1月～1992年12月—（向川 幹雄 編）
- ・児童文学研究（英語圏）文献解題 —1991年—（三宅 興子 編）

【第28号（1995年）】

■自由論文

- ・大佛次郎の少年少女向け時代小説におけるヒーロー像の変化
—再生される批判力—（相川 美恵子）
- ・豊島与志雄と『みかへりの塔』（久保田 由起子）
- ・三木卓『ほろびた国の旅』の文学空間
—自己批評の内律としての「満州」—（武藤 清吾）
- ・鈴木三重吉「赤い鳥」創刊への背景の一考察
—「新小説」編集顧問としての経験—（陶山 恵）
- ・WHERE THE WILD THINGS ARE における表支部の役割と機能（足羽 美恵）
- ・帝国の教具としての SAMBO
—The Story of Little Black Sambo の成立当時の「意味」—（難波 博孝・今井 美都子）

■追悼・富田博之

- ・富田博之の演劇教育論とその背景（上地 ちづ子）

■研究報告

- ・近代中国における創作児童文学の始まり —葉聖陶の作品を中心に—（成實 朋子）

■資料・研究文献紹介

- ・日本児童文学研究文献内容別目録（向川 幹雄 編）
- ・英語圏児童文学研究文献解題（三宅 興子 編）
- ・中国語圏児童文学研究書文献解題（河野 孝之 編）
- ・韓国・朝鮮児童文学研究文献目録（仲村 修 編）

【第 29 号 (1996 年)】

- ・もうひとつの〈東京遊学案内〉
—明治二〇年代の幼少年雑誌に描かれた遊学少年たち— (酒井 晶代)
- ・大正期における日米未来戦記の系譜 (上田 信道)
- ・椋鳩十作品における屋久島 (久保田 里花)
- ・久留島武彦と台湾 (游 珮芸)
- ・人間と spirits の相克 —スーザン・クーパー『ボガート』に見られる現代ファンタジーの問題点— (藤代 恵美子)
- ・絵本分析の一試論 —“お出かけ絵本”の視点構造— (竹内 オサム)

- ・日本児童文学研究文献内容別目録 —1995 年— (向川 幹雄 編)
- ・英語圏児童文学研究文献解題 —1993 年— (三宅 興子 編)
- ・フランス語圏児童文学研究文献解題 (石澤 小枝子 編)

【第 30 号 (1997 年)】

- ・「ガドルフの百合」論 —宮沢賢治の《内なる旅》— (多田 幸正)
- ・明治二五年における学童^{ネーション}／児童の言説編成
—巖谷小波『当世少年気質』と『暑中休暇』における同一性と差異— (目黒 強)
- ・松田瓊子研究 —『紫苑の園』における家庭像の位相— (西寄 のり子)
- ・近代中国における最初の童話集について —葉聖陶『かかし』を中心に— (成實 朋子)
- ・絵本は子どもの空想遊びをどのように描いているか
—心理学的分析試論— (佐々木 宏子)
- ・ジョージ・マクドナルド作品における Dualism (二元性)
—男性対女性— (安藤 理恵子)

- ・日本児童文学研究文献目録 —1996 年— (石井直人・上田信道・中川理恵子・藤本芳則 編)
- ・英語圏児童文学研究文献解題 —1994 年— (三宅 興子 編)
- ・ドイツ語圏児童文学研究論文解題 (上野 陽子 編)

【第 31 号 (1998 年)】

■自由論文

- ・武田雪夫の幼年童話に関する一考察 (藤本 芳則)

- ・大佛次郎の作品における〈杉作モデル〉の系譜
—幸福の求め方をめぐって— (相川 美恵子)
- ・『ペロー童話集』における物語の配列 —「外面」から「内面」へ— (竹本 尚子)
- ・ユートピアの作り方
—ケニス・グレアム *The Wind in the Willows* 再考— (横田 順子)

■研究報告

- ・近代沖縄の児童文化の歩み —大正期井波普猷の活動を中心として— (齋木 喜美子)
- ・児童読物処分の研究報告 —昭和13年4月から19年3月まで— (宮本 大人)

■その他

- ・日本児童文学研究文献目録 —1997年— (石井直人・上田信道・中川理恵子・藤本芳則 編)
- ・英語圏児童文学研究文献解題 (三宅 興子 編)
- ・中国語圏児童文学研究書文献解題 (河野 孝之 編)

【第32号(1999年)】

■自由論文

- ・三木露風「赤蜻蛉」の解釈 (和田 典子)
- ・山本有三編「日本少国民文庫」の成立と宮沢賢治
—『人類の進歩につくした人々』の検討を中心に— (遠藤 純)
- ・〈不幸者意識〉を越えて —南吉の晩年童話の誕生— (北 吉郎)
- ・「児童の発見」再考 —イデオロギー装置論(アルチュセール)に向けて— (目黒 強)
- ・『サンゴ島』における帝国主義とその矛盾 (水間 千恵)
- ・ジル・ペイトン・ウォルシュ *Unleaving* における〈語り〉の構造 (横田 順子)

■研究報告

- ・近代沖縄の児童文化に関する研究 —宮良長包の活動を中心に— (齋木 喜美子)
- ・『日本児童文学事典』の誕生まで
—最初の児童文学事典の編者および編集・出版過程— (長谷川 潮)

■文献目録・解題

- ・日本児童文学研究文献目録 —1998年— (石井直人・上田信道・中川理恵子・藤本芳則 編)
- ・英語圏児童文学研究文献解題 —1996年— (三宅 興子 編)
- ・フランス語圏児童文学研究文献解題 (石澤 小枝子 編)

【第 33 号 (2000 年)】

■自由論文

- ・有本芳水の少年小説 (上田 信道)
- ・南吉の〈夢〉 —晩年童話の特質— (北 吉郎)
- ・冒険小説における驚異性と信憑性
—The Coral Island から Swallows and Amazons に至る変化をめぐって— (水間 千恵)

■追悼・藤田 圭雄

- ・藤田圭雄論 (畑中 圭一)

■研究報告

- ・巖谷小波の子供向け戯曲作品に関する報告
—『新年狂言／春駒』『お伽芝居／春若丸』を中心に— (梶田 明子)

■資料・研究文献紹介

- ・英語圏児童文学研究文献解題 —1997 年— (三宅 興子 編)
- ・日本児童文学研究文献目録 —1999 年— (石井直人・上田信道・中川理恵子・藤本芳則 編)

【第 34 号 (2001 年)】

■自由論文

- ・谷崎潤一郎の初期作品における「不良」の表象に関する考察 (目黒 強)
- ・新美南吉の晩年童話論
—「幸福な心」の庶民像(「牛をつないだ椿の木」を核に)— (北 吉郎)
- ・『王の家』(平方久直・作)の「満州」像
—旧植民地を描いた児童文学の可能性と限界— (相川 美恵子)
- ・阿部知二の児童文学 (和田 典子)
- ・野上彌生子訳「ハイヂ」の一考察 (小野 由紀)

■追悼・弥吉菅一

- ・追悼 わが師・弥吉菅一先生 (大藤 幹夫)
- ・弥吉菅一先生の残されたもの (和田 典子)
- ・追悼 弥吉菅一先生 (石澤 小枝子)

■資料・研究文献紹介

- ・英語圏児童文学研究文献解題 —1998年— (三宅 興子 編)
- ・日本児童文学研究文献目録 —2000年— (石井直人・上田信道・中川理恵子・藤本芳則 編)

【第35号(2002年)】

■日本児童文学学会四十周年記念論文 入選・佳作作品

- ・「幼き者の旗」の誕生過程を考える —メディアがつくる「銃後」— (相川 美恵子)
- ・吉野源三郎「リンカーン伝」生成考 —戦争をくぐるということ— (奥山 恵)
- ・荻原規子作品の王権 —児童文学作品と素材との関係について— (原田 留美)

■自由論文

- ・野上彌生子の児童文学
—「赤い鳥」の「お爺さんとお婆さん」を中心に— (小野 由紀)
- ・小川未明童話研究 —〈異界〉との交流の見地から— (厚美 尚子)
- ・朝鮮総督府・朝鮮教育会『普通学校 児童文庫』
—植民地朝鮮と日本児童文学— (大竹 聖美)
- ・発禁処分の行方 —石森延男編「満州文庫」と東亜「新満州文庫」— (河野 孝之)

■資料・研究文献紹介

- ・中国語圏児童文学研究文献解題 —1994～99年— (河野 孝之 編)
- ・英語圏児童文学研究文献解題 —1999年— (三宅 興子 編)

【第36号(2003年)】

■自由論文

- ・《新日本幼年文庫》『ヒバリノソラニ』考
—「戦時」との関係を考える— (大橋 眞由美)
- ・新美南吉の描く子ども像 —「屁」を中心に— (仙田 まどか)
- ・「童話」ジャンルの再興 —読者対象からみた安房直子作品— (山尾 恭代)
- ・死者たちの解放へ
—Earthsea シリーズを中心とした「死」と「死者の国」— (織田 まゆみ)
- ・『銀河鉄道の夜』における反転の物語構造 (大石 加奈子)
- ・占領下の児童書検閲 —壺井栄の「石臼の歌」— (谷 暎子)

■資料・研究文献紹介

- ・英語圏児童文学研究文献解題 —2000年— (三宅 興子 編)
- ・日本児童文学研究文献目録 —2002年— (向川 幹雄・谷 悦子 編)

【第37号(2004年)】

■自由論文

- ・ベンジャミン・ブリテンのオペラ『ねじの回転』にみる、子ども観への問題提起
(井上 征剛)
- ・大正期における仙台児童文化運動の発展 (氏家 香菜子)
- ・トルストイ作「イワンのばか」の最初の受容
—長谷川天溪訳「大悪魔と小悪魔」と内田魯庵訳「馬鹿者イワン」の歴史的意義—
(丸尾 美保)
- ・Earthsea シリーズにおけるドラゴン表象 (織田 まゆみ)

■追悼・浜野卓也

- ・研究者・浜野卓也論 (奥山 恵)

■研究報告

- ・戦時期から被占領期に刊行された絵本の実態
—「岡本ノート」「創立事務所」「昭和出版」刊行絵本の事例研究— (大橋 眞由美)

■資料・研究文献紹介

- ・英語圏児童文学研究文献解題 —2001年— (多田 昌美・松下 宏子 編)
- ・日本児童文学研究文献目録 —2001・2003年— (向川 幹雄・谷 悦子・小野 由紀 編)

【第38号(2005年)】

- ・「原爆」記述をめぐる一考察
—被占領期の少年雑誌「週刊少國民」およびその改題誌を中心に— (相川 美恵子)
- ・子どもの「読み」を考える
—『あらしのよるに』のつづき創作から— (林 美千代)
- ・「自分で決める」 —『西の魔女が死んだ』の描く主体性について— (藤本 恵)
- ・「ファンタジー」に関する基礎的考察
—日本におけるファンタジー論の変遷に着目して— (渡辺 良枝)

■資料・研究文献紹介

- ・韓国における児童文学研究・評論の歴史と現況 (大竹 聖美)
- ・韓国児童文学研究文献解題 —1967～2004年— (大竹 聖美 編)
- ・英語圏児童文学研究文献解題 —2002年— (多田 昌美・松下 宏子 編)
- ・日本児童文学研究文献目録 —2004年— (向川 幹雄・谷 悦子・小野 由紀 編)

【第39号(2006年)】

■自由論文

- ・メルヒェンから〈お伽噺〉へ
巖谷小波と「オットーのメルヒェン集」
—Prinzessin Eselshautと「驢馬姫」とをめぐって— (前田 陽子)

■研究報告

- ・国民教化と児童文学 —宮古島の「久松五勇士」から見えてくるもの— (齋木 喜美子)
- ・函館中央図書館所蔵・台湾発行の児童雑誌について (横田 由紀子)
- ・三木露風が『赤い鳥』童謡欄の選者を断った理由 (和田 典子)

■資料・研究文献紹介

- ・英語圏児童文学研究文献解題 —2003年— (多田 昌美・松下 宏子 編)
- ・日本児童文学研究文献目録 —2005年— (遠藤 純 編)

【第40号(2007年)】

■研究報告

- ・児童雑誌「コドモ満州」の概要と特徴 (柴村 紀代)
- ・戦時下における児童向け『古事記』の受容と変容 —引用の観点から— (田中 千晶)

■第十八回国際児童文学学会研究大会・シンポジウムの報告

佐藤宗子・奥山恵・目黒強・成實朋子・Valerie Coghlan (ヴァレリー・コグラン)

■研究動向

- ・児童文化研究の可能性を求めて —児童文化研究状況— (加藤 理)
- ・宮沢賢治 研究動向 (大島 丈志)
- ・海外児童文学 研究動向 (福本 由紀子)

■資料・研究文献紹介

- ・英語圏児童文学研究文献解題 —2004年— (多田 昌美・松下 宏子 編)
- ・日本児童文学研究文献目録 —2006年— (遠藤 純 編)

【第41号(2008年)】

- 特集 第四十六回研究大会シンポジウム —今、「児童文化」の原点を問い直す—
- ・第四十六回研究大会シンポジウムの報告 —企画の趣旨について— (中地 文)
- ・大正自由教育と児童文化 —及川平治と西山哲治を中心として— (中野 光)
- ・童謡勃興期に探る児童文化の原点 (畑中 圭一)
- ・「児童文化」の史的原像 —大正期の仙台児童文化活動を通して— (加藤 理)

■資料・研究文献紹介

- ・英語圏児童文学研究文献解題 —2005・2006年— (多田 昌美・松下 宏子 編)
- ・中国語圏児童文学研究文献解題 —2000～2007年— (河野 孝之・成實 朋子 編)
- ・韓国児童文学研究文献解題 —2005～2007年— (大竹 聖美 編)
- ・日本児童文学研究文献目録 —2007年— (遠藤 純 編)

【第42号(2009年)】

■依頼論文

- ・井伏鱒二の創作方法 —四〇年代前半の二作を読み解く— (勝尾 金弥)

■研究ノート

- ・伊波南哲の児童文学 —戦中の児童雑誌掲載作品を中心に— (齋木 喜美子)
- ・日本児童文化協会の創立と前半期の活動 (浅岡 靖央)
- ・『西洋勸善夜話』における翻案 —The National Reader を中心に— (府川 源一郎)

■文献目録・解題

- ・英語圏児童文学研究文献解題 —2007年— (多田 昌美・松下 宏子 編)
- ・日本児童文学研究文献目録 —2008年— (遠藤 純 編)

【第43号(2011年)】

■自由論文

- ・『浮浪児の栄光』をめぐる一考察
—(戦争児童文学)における位置づけを考える— (相川 美恵子)

- ・巖谷小波の創作「お伽小説」
—異界往還物語からみる「少年」と「少女」— (蔡 暉映)
- ・エクトール・マロ『家なき子』『家なき娘』における社会問題
—「家族」の表象を中心に— (渡辺 貴規子)

■研究ノート

- ・おてんとさん童話会に見る黎明期児童文化活動 (加藤 理)

■文献目録・解題

- ・英語圏児童文学研究文献解題 —2008年— (多田 昌美・松下 宏子 編)
- ・日本児童文学研究文献目録 —2009年— (遠藤 純 編)